**【資料２－１】利害関係者への情報開示と秘密情報の取扱い**

**１．秘密扱いを求める書面等の作成・提出**

（１）利害関係者（「調査対象貨物の生産者及び輸出者」、「調査対象貨物の輸入者」及び「本邦産同種の貨物の生産者」）及び調査対象貨物又は本邦産同種の貨物を使用する「産業上の使用者」等が政府へ提出した質問状回答等及びその他の書面（本項で述べる「秘密扱いを求める書面」を含む。）は、他の利害関係者による閲覧の対象となります。

（２）上記の提出書面等のうち貴社の営業活動等が明らかになる情報は、ＡＤ協定及び政令の関係規定に基づき秘密扱いとすることができます。

貴社が政府への提出書面等の作成及び提出に当たって秘密として取り扱うことを求める場合には、非開示版及び開示版の当該提出書面等とともに、秘密扱いを求める書面（【様式第６】、【様式第７－１】及び【様式第７－２】）を提出してください。

**秘密として取り扱うことを求めない回答部分については、開示に同意したものとみなします。**

（３）「秘密扱いを求める書面」の作成に当たって、秘密情報として取り扱われる事例は、「【資料２－２】秘密情報として取り扱われる事例」を参照してください。また、同書面の「秘密の理由」の欄には、【資料２－２】に掲げる事例の該当番号を記入してください。

（４）利害関係者等が、秘密として取り扱うことを求める情報については、意見を異にする他の利害関係者に反論の機会を与えるため、当該秘密情報部分をより一般的な表現に改め、又は要約した開示版を作成してください。開示版の提出書面等の作成に当たっては、「【資料２－３】非開示版及び開示版作成の注意事項・手順等」を参照してください。

（５）なお、質問状回答等で回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。また、質問状回答等が「空欄」であった場合には、「空欄」であることを秘密として取り扱うことはできません。「空欄」はそのまま「空欄」として閲覧されることに留意してください。

**２．利害関係者への情報開示（閲覧）**

（１）利害関係者等から非開示版及び開示版の質問状回答等及び秘密扱いを求める書面が提出され、秘密として取り扱うことが適当と認められる場合には、開示版の書面等が利害関係者の閲覧対象となり、当該秘密扱いを求める部分については、回答を行った利害関係者等の同意がない限り第三者には開示されません。

ただし、下記３．のとおり、秘密として取り扱うことの適切性については、他の利害関係者が意見を述べることが可能であり、また、政府から開示版の修正を求める場合があります。

（２）**貴社が提出した開示版ＰＤＦは、原則としてそのまま閲覧に供されます。**開示版の提出書面を１つにまとめてＰＤＦ化したものを保存し、提出してください。

（３）政府は、閲覧を開始する際、その旨を利害関係者の連絡先担当者へ、原則として電子メールにて連絡しますので、閲覧を希望する場合は、「確認票」のⅡ．の「４．開示版の質問状回答の閲覧等」（１）の設問で「希望する」を選択し、同（２）に連絡先等を記載してください。

（４）利害関係者による閲覧時には、閲覧権限を有する者であることを確認できる書類の提出又は提示及び閲覧権限を有する者自身の身分証の提示又は複写の提出を求めますので、貴社の従業員であることを証する社員証及び自身の身分証をあらかじめ御用意ください。電子データでの閲覧を希望する場合には、閲覧申請時に身分証の写しを電子メールで提出してください。また、貴社が閲覧を委任する場合にあっては、委任したことを証する書類（様式は任意）及び当該委任を受けた者の身分証をあらかじめ御用意ください。併せて、上記（２）において調査当局から電子メールにて連絡する際に閲覧申請書を添付しますので、当該申請書に必要事項を記載の上、提出してください。

**３．開示範囲の適切性の確認**

（１）利害関係者は、他の利害関係者等が提出した開示版の質問状回答等の内容について、秘密として取り扱うことの適切性（開示範囲の適切性）についての意見を提出することができます。

（２）利害関係者は、不当廉売関税の課税期間の延長に関する調査への協力のお願い（利害関係者等共通）**「Ⅸ．証拠等の閲覧」**の**「２．開示範囲又は秘密情報の要約の適切性の意見の提出要領」**に従って、又は、利害関係者等が政府へ提出した書面等の閲覧について連絡をする際に当該書面に係る上記（１）の意見の提出について政府が指示する場合はその指示に従って、「【様式第９－６】「秘密扱いを求める旨の適切性についての意見」」により、該当する開示範囲（開示箇所）及び当該開示に係る適切性に関する意見（不適切と考える理由等）を記載し、指定された提出期限までに、上記お願い紙Ⅲ.２．（１）の提出先まで、上記お願い紙Ⅰ. （７）を参照の上、持参、郵送又は電子メールで提出してください。

（３）政府は、開示版の質問状回答等の開示範囲の適切性を審査します。その結果、秘密扱いの要請に正当な理由がないと認められる部分については、要約等ではなく回答そのものの開示をお願いすることを含め、開示版の修正を求める場合があります。

（４）政府が開示版の質問状回答等について秘密として取り扱うことに正当な理由がないと認める場合であって、貴社が情報の開示に同意しないとき又は一般的な表現若しくは要約された形による開示を認めないときは、適当な者から政府に対して、当該質問状回答等の情報が正確であることを十分に立証されない場合、証拠の認定に際し当該情報が不採用となることがあります。

**４．その他**

秘密として取り扱うことができる情報（「【資料２－２】秘密情報として取り扱われる事例」参照）の範囲や、「【様式第６】秘密扱いを求める書面」の作成に際し不明な点がある場合は、書類を提出する前に、随時、上記お願い紙　Ⅲ.２．（２）の問合せ先に確認してください。

**【資料２－２】秘密情報として取り扱われる事例**

**１．営業上の秘密情報**

通常、営業上の秘密情報として取り扱われる事例は、以下（1）から（17）までのもの（公に示されている情報を除く。）が挙げられます。

（1） 製品の性質、特性、製造方法・過程、検査方法であって営業秘密に該当するもの

（2） 製造コスト（金額）。ただし、具体的費目については、営業秘密に該当しない限り、これに含まれない。

（3） 流通コスト（金額）。ただし、流通経路についてはこれに含まれない。

（4） 販売条件

（5） 個々の販売価格。ただし、価格を構成する費目（例えば運賃等）、販売日、製品説明（営業秘密を除く。）、発注数についてはこれに含まれない。

（6） 個別企業の生産額

（7） 個別企業の輸出額

（8） 個別企業の国内販売額及び自家消費額

（9） 個別の取引相手等の名称（顧客名、流通事業者名、物流事業者名、原材料等供給者名、関連企業名）。ただし、販売された貨物の行き先、取引相手の属性（例：産業上の使用者、販売店、代理店金融機関）については、相手方の名称が明らかにならない限り、これに含まれない。

（10）公に示されていない情報の入手先にかかる具体的名称

（11）国内産業の支持・不支持にかかる立場

（12）個別企業の生産量

（13）個別企業の輸出量

（14）個別企業の国内販売量及び自家消費量

（15）個別企業の財務等の状況を示す指標（販売、利潤、生産高、市場占拠率、生産性、投資収益、操業度、資金流出入、在庫、雇用、賃金、成長、資本調達能力、投資の状況を示す指標）

（16）その他開示することにより当該情報の提供者が競争上著しい不利益を被ることとなるもの又は開示することにより当該情報の提供者あるいは当該情報の情報源である者に対して著しい悪影響を及ぼすことになるものであって、具体的な理由が示された場合

（17）開示することにより上記で不開示とされた情報（不開示情報）が推察・推計できる情報であって、推察・推計される不開示情報及びその具体的な推察・推計方法が示された場合

**２．個人に関する秘密情報**

通常、個人に関する秘密情報として取り扱われる事例は、以下が挙げられます。

（18） 個別企業の担当者名及び連絡先等（公に示されている情報を除く。）

(\*)なお、代理人弁護士の氏名及び連絡先等は、原則(18)に該当しません。

**【資料２－３】非開示版及び開示版作成の注意事項・手順等**

**１．秘密情報の要約に係る留意点**

①　回答に係る数値を秘密とする場合、％、円、＄等の単位は【　】の直後に記載し、開示版の閲覧者が**水色マーカーを付した秘密要請箇所にどのような内容が記載されているかを推測できるように【　】内に要約を記載**してください。また、【　】には指数やレンジなど、秘密を求める数値に係る適切な要約を記載してください。

②　回答の中で記述される販売先の名称その他の企業秘密に該当する語句を秘密情報とする場合、【　】内には、当該取引企業の業態等として、【物流会社名】、【販売先会社名】、【代理店会社名】、【委託先会社名】等と記載してください。

③　経費削減策や製造工程のノウハウ等の具体的な説明を秘密情報とする場合、【　】で括る範囲を極力少なくし、【　】の前の主語や状況設定に関する前置き部分と【　】の後ろの述語を開示情報としてください。

④　なお、秘密扱いを求める箇所が質問状の添付様式（マイクロソフト・エクセル（MS Excel））の表中の項目（セル）全体の場合はエクセル表中の当該秘密情報のセルに水色で網掛けをしてください。

**２．非開示版及び開示版の書面のマイクロソフト・ワード（MS Word）による作成手順の例**

**（１）非開示版及び開示版の回答書等の作成の手順①**

［手順①-1］非開示版の調査項目に対する回答を記述し、回答の中で秘密として取り扱うことを要請したい箇所に水色マーカーを付します。（※記載例を参照してください。）

（注１）全ての「回答書」等（「回答書」には様式及び添付資料を含む。以下同じ。）のフッター中央に、ページ番号を付してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （記載例①-1） | | |
|  | 当社が取引する同種の貨物について、令和６年の主な取引企業は○○株式会社であり、販売金額は３０億円となった。なお、同年の当該取引が全体の販売金額に占める割合は５５％であるものの、前年比で２０％減少。 |  |
|  | |

［手順①-2］水色マーカーを付した部分の直前に【　】を付し、当該【　】内に秘密とする内容の要約を記載します。

（注２）手順①-2の作業後の「回答書」等を「非開示版」として提出してください。「非開示版」の「回答書」等は、**当該書面（印刷物）及び電子ファイル**に「非開示版」のヘッダーを付した上で提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （記載例①-2） | | |
|  | 当社が取引する同種の貨物について、令和６年の主な取引企業は**【販売先会社名】**○○株式会社であり、販売金額は**【２５～３５】**３０億円となった。なお、同年の当該取引が全体の販売金額に占める割合は**【約５０】**５５％であるものの、前年比で**【１５～２５】**２０％減少。 |  |
|  | |

［手順①-3］開示版の作成については、手順①-2作業後の「非開示版」の電子ファイルをコピーして別の電子ファイルを作成し、同ファイルの水色マーカーを付した部分を削除します。

（注３）手順①-3の作業後の「回答書」等を「開示版」として提出してください。「開示版」の「回答書」等は、**当該書面（印刷物）及び電子ファイル**に「開示版」のヘッダーを付した上で提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （記載例①-3） | | |
|  | 当社が取引する同種の貨物について、令和６年の主な取引企業は**【販売先会社名】**であり、販売金額は**【２５～３５】**億円となった。なお、同年の当該取引が全体の販売金額に占める割合は**【約５０】**％であるものの、前年比で**【１５～２５】**％減少。 |  |
|  | |

**（２）非開示版及び開示版の回答書等の作成の手順②**

**（ア）調査項目に対する回答データの数値を指数で表示する場合**

［手順②(ｱ)-1］非開示版の回答データの数値の中で秘密として取り扱うことを要請したい箇所に水色マーカーを付してください。

（注４）手順②(ｱ)-1の作業後の「回答書」等を「非開示版」として提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例②(ア)-1）  輸入額及び輸入量の推移 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 輸入額 | 300,000 | 270,000 | 330,000 |
| 輸入量 | 300 | 300 | 360 |
| （出所）○○○  （単位）輸入額（円）、輸入量（キログラム） | | | | |

［手順②(ｱ)-2］開示版作成については、手順②（ｱ）-1の作業後の「非開示版」の電子ファイルをコピーして別の電子ファイルを作成し、同ファイル中の回答データの水色マーカーを付した部分の指数を記載してください。

（注５）手順②(ｱ)-2の作業後の「回答書」等を「開示版」として提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例②(ア)-2）  輸入額及び輸入量の推移 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 輸入額 | 【100】 | 【90】 | 【110】 |
| 輸入量 | 【100】 | 【100】 | 【120】 |
| （出所）○○○  （単位）輸入額（円）、輸入量（キログラム）  （注）【　】は、2022年を100とする指数である。 | | | | |

**（イ）調査項目に対する回答データの数値をレンジで表示する場合**

［手順②(ｲ)-1］非開示版の回答データの数値の中で秘密として取り扱うことを要請したい箇所に水色マーカーを付してください。

（注６）手順②(ｲ)-1の作業後の「回答書」等を「非開示版」として提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例②(イ)-1）  輸入額及び輸入量の推移 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 輸入額 | 300,000 | 270,000 | 330,000 |
| 輸入量 | 300 | 300 | 360 |
| （出所）○○○  （単位）輸入額（円）、輸入量（キログラム） | | | | |

［手順②(ｲ)-2］開示版作成については、手順②(ｲ)-1の作業後の「非開示版」の電子ファイルをコピーして別の電子ファイルを作成し、同ファイルの中の水色マーカーを付した部分のレンジ（レンジの幅は実際の数値より大きくかけ離れないようにしてください）を記載してください。

（注７）手順②(ｲ)-2の作業後の「回答書」等を「開示版」として提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例②(イ)-2）  輸入額及び輸入量の推移 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 輸入額 | 【275,000  　　　～325,000】 | 【245,000  　　　～295,000】 | 【305,000  　　　～355,000】 |
| 輸入量 | 【275～325】 | 【275～325】 | 【335～385】 |
| （出所）○○○  （単位）輸入額（円）、輸入量（キログラム）  （注）【　】は、数値をレンジで表示。 | | | | |

**３．非開示版及び開示版の様式（マイクロソフト・エクセル（MS Excel））による作成手順の例**

回答について秘密として取り扱うことを求める場合には、非開示版（当局参照用）及び開示版（閲覧用）の提出が必要です。

様式の作成に当たって、数値を秘密扱いとすることが予想されるものについては、数値の要約が自動入力される数式入りのエクセルシート（以下「開示版エクセルシート」という。）を予め用意しています。

シート名に「（開示版）」と記載のあるものが開示版エクセルシートです。それ以外は非開示版です。

　　以下の作成手順の例は、開示版エクセルシートにより要約を作成する場合に参照してください。

**●要約作成に係る留意点**

1. 開示版エクセルシートは、数値入力用のエクセルシート（以下「非開示版エクセルシート」という。）と同じ電子ファイルに保存されています。開示版エクセルシートには、非開示版エクセルシートに数値を入力することにより、自動的に数値を要約（レンジ又は指数）する数式が入力されています。そのため、**要約の数式を使用されない場合又は要約内容が望ましくない場合は、適宜の要約を作成（直接入力）**してください。また、**秘密扱いを希望されない項目は、非開示版と同じ数値を記載（直接入力）**してください。
2. 全ての項目に数値を入力した後、数値の要約が全て反映されていることを確認してください。**要約内容に問題なければ、要約をレンジとする場合は、開示版エクセルシート全体を値形式で貼り付け（シート全体をコピーし、同じシートに値として貼り付け）**してください。なお、確認票については、要約の数式を利用する場合は、まず非開示版エクセルシートから値形式で貼り付けを行った後に、開示版エクセルシートの値形式で貼り付けを行ってください。確認票については、開示版エクセルシートに数値を要約する数式が入力されているのではなく、非開示版エクセルシートに数値を要約する数式が入力されています（非開示版エクセルシートの入力された数値が同シート中の別のセルに要約したものとして出力され、当該要約されたものが開示版エクセルシートに自動的に転記されるようにしています。）。開示版エクセルシートから先に値形式で貼り付けをすると、値形式で貼り付けをする際に要約の内容が変化し、非開示版エクセルシートの要約の内容と相違が生じる可能性があります。
3. **開示版エクセルシートは、全ての非開示版エクセルシートに対して用意しているものではありません。**そのため、開示版エクセルシートが用意されていない非開示版エクセルシートにおいて要約が必要な場合には、適宜開示版を作成してください。作成した場合は、**シート名の最後に（開示版）と記載してください。**
4. **開示版エクセルシートにより要約を作成した場合、開示版のデータを提出する際は、ＰＤＦ化したものと併せて、開示版エクセルシートも保存し提出**してください。なお、**開示版エクセルシートの提出にあたっては、非開示版エクセルシートと同じ電子ファイルとして保存し提出**してください。開示版エクセルシートを非開示版エクセルシートと分けて提出する必要はありません。
5. ②により一度全体を値形式で貼り付けした後は、非開示版エクセルシートに数値を入力しても開示版エクセルシートには反映しませんので、非開示版エクセルシートを修正した場合は、開示版エクセルシートの該当セルを直接入力で必要な修正をしてください。
6. 非開示版エクセルシートにおいて、必要により行を追加した場合、開示版エクセルシートにおいても、該当行を合わせて追加してください。その場合、追加した行に数式が正しく反映しているか確認の上、開示版を作成してください。

**（１）非開示版及び開示版の様式の作成の手順**

**当局が予め用意した数式入りのエクセルシートにより要約を作成する場合**

［手順③-1］非開示版の回答データの数値の中で秘密として取り扱うことを要請したい箇所に水色マーカーを付してください。

（注８）手順③-1の作業後の様式を「非開示版」として提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例③-1）  生産量及び稼働率の推移 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 生産量 | 300,000 | 270,000 | 330,000 |
| 稼働率 | 60 | 50 | 70 |
| （単位）生産量（kg）、稼働率（％） | | | | |

［手順③-2］開示版エクセルシートにおいて、非開示版の回答データの要約（レンジ又は指数）が自動的に作成されます。

（注９）開示版エクセルシートは、非開示版エクセルシートと同じ電子ファイルに保存されており、シート名に【開示版】と記載しています。

（注１０）要約を指数とする場合、一番左の期間の数値が「0」のとき開示版の計算結果がエラーとなりますので、最初に実績のある期間を【100】とする指数で算出するよう加工してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （記載例③-2）  生産量及び稼働率の推移【開示版】 | | | | | |
|  | 年 | 2022 | 2023 | 2024 |  |
| 生産量 | 【100】 | 【90】 | 【110】 |
| 稼働率 | 【51％～70％】 | 【44％～59％】 | 【62％～79％】 |
| （単位）生産量（kg）、稼働率（％）  （注）生産量の【　】は、2022年を100とする指数である。  （注）稼働率の【　】は、数値をレンジで表示。 | | | | |

［手順③-3］（要約をレンジとする場合）数値の要約内容に問題なければ、開示版エクセルシート全体を値形式で貼り付けしてください。

（注１１）手順③-3の作業後の様式を「開示版」としてPDF化し提出するとともに、開示版エクセルシートも併せて提出してください。

**４．非開示版及び開示版の適切な作成例**

**（１）確認票の個人情報に係る作成例**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【非開示版】 | | | | |  | 【開示版】 | | | | |
|  | | | | |  | 個人情報に係る記載箇所について秘密として取り扱うことを求める場合、**対象となる回答内容のセルについて、【　】内に回答内容の要約を記載** | | | | |
| Ⅱ．事業者名称・住所等、担当者、代理人 | | | |  |  | Ⅱ．事業者名称・住所等、担当者、代理人 | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １．貴社の名称等 | | | | |  | １．貴社の名称等 | | | | |
|  | 事業者名 | | 財務株式会社 |  |  |  | 事業者名 | | 財務株式会社 |  |
|  | 住所・所在地 | | 東京都千代田区霞が関３－１－１ |  |  |  | 住所・所在地 | | 東京都千代田区霞が関３－１－１ |  |
|  | 代表者役職 | | 代表取締役社長 |  |  |  | 代表者役職 | | 代表取締役社長 |  |
|  | 代表者氏名 | | 財務　太郎 |  |  |  | 代表者氏名 | | 財務　太郎 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２．回答作成責任者及び担当者 | | | | |  | ２．回答作成責任者及び担当者 | | | | |
| （1）責任者（所属・役職、氏名、連絡先） | | | |  |  | （1）責任者（所属・役職、氏名、連絡先） | | | |  |
|  | 事業者名 | | 財務株式会社 |  |  |  | 事業者名 | | 財務株式会社 |  |
|  | 所属部署・役職 責任者氏名 | | 総務部総務課　課長 財務　次郎 |  |  |  | 所属部署・役職 責任者氏名 | | 【所属部署・役職】 【氏名】 |  |
|  | 住所・所在地 | | 東京都千代田区霞が関３－１－１ |  |  |  | 住所・所在地 | | 東京都千代田区霞が関３－１－１ |  |
|  | 連絡先 | 電話番号 | 03-3581-4111 |  |  |  | 連絡先 | 電話番号 | 【電話番号】 |  |
|  | 電子メールアドレス | zaimu.jiro@mof.go.jp |  |  |  | 電子メールアドレス | 【電子メールアドレス】 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**（２）確認票の数値に係る作成例**

（ア）数値の要約を指数で表した場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【非開示版】 | | | | |  |  |  | 【開示版】 | | | | |  |
|  | ［単位］ | | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |  |  |  | ［単位］ | | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |  |
|  | 量　　：kg | | （2022年） | （2023年） | （2024年） |  |  |  | 量　　：kg | | （2022年） | （2023年） | （2024年） |  |
|  | 金額 ：千円 | | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 |  |  |  | 金額 ：千円 | | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 |  |
|  | 数量 | 【要約】 | 【100】 | 【200】 | 【300】 |  |  |  | 数量 | 【要約】 | 【100】 | 【200】 | 【300】 |  |
|  | 数量 | 1,000 | 2,000 | 3,000 |  |  |  | 数量 |  |  |  |  |
|  | 金額 （日本円） | 【要約】 | 【100】 | 【200】 | 【300】 |  |  |  | 金額 （日本円） | 【要約】 | 【100】 | 【200】 | 【300】 |  |
|  | 金額 | 100,000 | 200,000 | 300,000 |  |  |  | 金額 |  |  |  |  |
| （注）【　】は、令和4年（2022年）を100とする指数である。 | | | | | |  |  | （注）【　】は、令和4年（2022年）を100とする指数である。 | | | | | |  |

（イ）数値の要約をレンジで表した場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【非開示版】 | | | | |  |  |  | | 【開示版】 | | | | |  |
|  | ［単位］ | | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |  |  |  | ［単位］ | | | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |  |
|  | 量　　：kg | | （2022年） | （2023年） | （2024年） |  |  |  | 量　　：kg | | | （2022年） | （2023年） | （2024年） |  |
|  | 金額 ：千円 | | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 |  |  |  | 金額 ：千円 | | | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 | 1/1～12/31 |  |
|  | 数量 | 【要約】 | 【800～1,200】 | 【1,800～2,200】 | 【2,800～3,200】 |  |  |  | 数量 | | 【要約】 | 【800～1,200】 | 【1,800～2,200】 | 【2,800～3,200】 |  |
|  | 数量 | 1,000 | 2,000 | 3,000 |  |  |  | 数量 |  |  |  |  |
|  | 金額 （日本円） | 【要約】 | 【80,000～120,000】 | 【180,000～220,000】 | 【280,000～320,000】 |  |  |  | 金額 （日本円） | | 【要約】 | 【80,000～120,000】 | 【180,000～220,000】 | 【280,000～320,000】 |  |
|  | 金額 | 100,000 | 200,000 | 300,000 |  |  |  | 金額 |  |  |  |  |
| （注）【　】は、数値をレンジで表示。 | | | | | |  |  | （注）【　】は、数値をレンジで表示。 | | | | | | |  |

**（３）質問状回答書の作成例**

（ア）数値の要約を指数で表した場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【非開示版】 | | | | | |  |  |  | 【開示版】 | | | | | |  |
|  | 主要生産品目 | 主要用途 | 生産数量（kg） | 生産額（原価で記載） (貴国通貨) | 為替換算レート（円） | 生産額（原価で記載） |  |  |  | 主要生産品目 | 主要用途 | 生産数量（kg） | 生産額（原価で記載） (貴国通貨) | 為替換算レート（円） | 生産額（原価で記載） |  |
|  | （千円） |  |  |  | （千円） |  |
|  | 品目A | 工業用 |  |  | - | - |  |  |  | 品目A | 工業用 | 【100】 | 【100】 | - | - |  |
| 1,000 | 100,000 |  |  |  |
|  | 品目B | 食品用 |  |  | - | - |  |  |  | 品目B | 食品用 | 【200】 | 【200】 | - | - |  |
| 2,000 | 200,000 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（イ）数値の要約をレンジで表した場合

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 【非開示版】 | | | | | |  |  |  | 【開示版】 | | | | | |  |
|  | 主要生産品目 | 主要用途 | 生産数量（kg） | 生産額（原価で記載） (貴国通貨) | 為替換算レート（円） | 生産額（原価で記載） |  |  |  | 主要生産品目 | 主要用途 | 生産数量（kg） | 生産額（原価で記載） (貴国通貨) | 為替換算レート（円） | 生産額（原価で記載） |  |
|  | （千円） |  |  |  | （千円） |  |
|  | 品目A | 工業用 |  |  | - | - |  |  |  | 品目A | 工業用 | 【800～1,200】 | 【80,000～120,000】 | - | - |  |
| 1,000 | 100,000 |  |  |  |
|  | 品目B | 食品用 |  |  | - | - |  |  |  | 品目B | 食品用 | 【1,800～2,200】 | 【180,000～220,000】 | - | - |  |
| 2,000 | 200,000 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**５．非開示版及び開示版回答書の不適切な作成例**

**非開示版及び開示版の回答書等の作成に当たって不適切な事例の一部を次のとおり例示します。下記のような不適切な回答の場合には、当該回答内容に係る情報を証拠の認定に際し不採用とすることがありますのでご注意ください。**

（１）政府から送付した質問状の各質問項目の下段に設けた回答欄への記載を求めているものについて、**当該質問状に回答を記載せず、別紙の添付資料にて回答して、添付資料の全てを非開示とする**こと

（具体例：A-1-6 主要生産品目）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主要生産品目 | 主要用途 | 生産数量（kg） | 生産額（原価で記載） (貴国通貨) | 為替換算レート（円） | 生産額（原価で記載）  （千円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**回答：添付資料A-1-6を御参照ください。**

（添付資料A-1-6の内容：）

添付資料A-1-6

【開示版】

添付資料A-1-6について

添付資料A-1-6は、当社の主要生産品目である。

（２）政府から送付した様式の回答欄への記載を求めているものについて、**当該様式の表形式を残さず、かつ秘密として取り扱うことの要請を行う各欄に要約を付さずに、様式全体を非開示とする**こと

（具体例：様式A-4-2　事業系統図）

貴社の○○○に関する事業について、回答してください。

**回答：**（様式A-4-2の内容：）

様式A-4-2

【開示版】

様式A-4-2について

様式A-4-2は、当社の調査対象貨物及び同種の貨物に関する事業についての系統図である。

（３）上記２．の「開示版の書面のマイクロソフト・ワード（MS Word）による作成手順の例」に従わず、調査項目に対する回答文章全てを非開示とすること

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A-1-1 ･･････の理由を記入してください。 | | |
|  | 当社が取引する同種の貨物について、平成２３年度の主な取引企業は○○株式会社であり、販売金額は３０億円となった。なお、同年度の当該取引が全体の販売金額に占める割合は５５％であるものの、前年比で２０％減少。 |  |
|  | |